



第66回大会 村木厚子さんと阿部一彦会長のショート対談の様

第2部では式典と議事を行い、永年地域において障害者福祉の向上に貢献してこられた48名の方が表彰され、お写真とともに紹介さ

割についてさらにテーマを深めました。内容は振り返りつつ、日身連に求められる役割についてさらにテーマを深めました。

第66回大会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、福岡県での開催が来年に延期となつたことから、日身連本部が主催となり、運営にあたりました。6月28日、ビジョンセンター永田町(東京都千代田区)を配信会場に、午後1時から配信がスタート。大会は、小西慶一副会長の力強い開会宣言で幕を開けました。

6月28日(月)、第66回日本身体障害者福祉大会が、新型コロナウイルス感染症による影響から、日身連においては初めての試みとなるYouTubeによるライブ配信で開催しました。

第66回日本身体障害者福祉大会

「コロナ禍を越え、強い絆で」

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
 発行人 阿部 一彦
 東京都豊島区目白3丁目4の3
 デアダンクビル4階
 TEL 03-3565-3399(代)
 FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of Organizations of the Disabled Persons (JFOD)
 年間購読料 正会員1部 300円
 非会員1部 1000円

就任のご挨拶

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
 会長 阿部 一彦



この度、日本身体障害者団体連合会会長に再任されました阿部一彦です。日頃より日身連の活動に対しまして、全国の会員並びに加盟団体の皆さまには、特段のご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。また、先日、初のオンライン配信による全国大会を開催させていただきましたが、全国から多くの皆さまにご参加いただき、盛会のうち無事閉会することができました。あらためまして、厚くお礼申し上げますとともに、皆さまとの強いつながりを大切に、日身連の会長として皆さまのご期待に応えられるよう身を引き締めて取り組んでまいりたく存じます。

さて、現在、東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、障害者施策においては、府省庁の垣根を越え、障害者を取り巻くハード面、ソフト面の環境整備の促進が図られています。日身連は、主だった国の会議に参画していますが、全国的な組織力と一貫して取り組んできている地域とのつながりを踏まえ、地域の声が施策に反映されるよう意見具申に努めてまいります。さらに、障害当事者の参画による防災減災に係る対策や心のバリアフリーの啓発が、地域においても促進されるよう働きかけてまいりたいと思います。

先の見えないコロナ禍ですが、障害者権利条約で掲げた“私たちのことは私たち抜きに決めないで”の精神をもって、全国の会員並びに加盟団体の皆さま、そして、ご支援いただいている関係団体及び企業の皆さまと深い連携のもと、日身連のネットワークをいかし、日身連だからこそできる活動を通し、地域共生社会の実現にむけ鋭意努力してまいります。

新執行部体制となった日身連の活動に対しまして、今後とも、特段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とますますのご発展を心より祈念申し上げます。

れたほか、昭和40年代から長きにわたって日身連へご寄付を賜り、このたび閉業を決められた「日身連協力会」の福田正義代表に、その多大な貢献に対して感謝状が贈呈されました。また、来賓あいさつでは田村憲久厚生労働大臣がビデオメッセージで登場し、コロナ禍の中で開催された大会へ激励の言葉を寄せていただきました。

議事では、日身連副会長がそれぞれの見逃し配信のご案内

第66回日本身体障害者福祉大会ライブ配信の様を、期間限定で見逃し配信いたします。詳しくは日身連のホームページをご覧ください。
<https://www.nissinren.or.jp/>

地元から参加。令和2年度事業報告(宮城県・森正義副会長)、令和3年度事業計画(長崎県・土岐達志副会長)、大会宣言(大阪市・手嶋勇一副会長)、大会決議(愛媛県・河内修一副会長)をそれぞれ行いました。最後に、次期開催地として福岡県身体障害者福祉協会の大塚洋理事長が、来年に向けた大会への意気込みを語られ、愛知県の加賀時男副会長が閉会のことばを述べて終了しました。

